

標 題 : Breast cancer prevention in premenopausal women: role of the Mediterranean diet and its components.  
閉経前の女性における乳がんの予防 : 地中海食事とその成分の役割

---

著 者 : D. Laudisio, et al. (イタリア フェデリコ2世・ナポリ大学  
Dipartimento di Medicina Clinica e Chirurgia 内分泌科)

---

掲 載 誌 : Nutr. Res. Rev. 2019 Oct 1: 1-14 [印刷に先立つ電子出版]  
[冊子版は同誌 2020 Jun; 33(1):19-32]

---

要 旨 :

乳がんは、大部分の先進国および発展途上国で、公衆衛生上の関心が高まっている。

閉経前に診断される乳がん患者の数が増加して、閉経前の女性が悪性表現型を示しているため、閉経前に乳がんの発症率を低下させるための予防戦略の促進に一貫した関心がある。

地中海食事は、がんの予防に関して有益な作用があると報告されている。

この健康的な食事パターンは、主に好ましい脂肪酸組成と共に重要な抗酸化性を有する食品から構成され、全てががんのリスク低下と関連する。

研究被験者の特徴の大きな変動のために、乳がんに対する地中海食事の予防する役割はまだ議論の余地があり、そして地中海食事の順守と乳がんのリスクとの間の関連を閉経前の女性で調べる研究は、閉経後の女性での研究よりも少ない。

さらに、地中海食事の有益な作用は単一成分によるものか、または地中海食事の全ての成分の相乗効果に由来する可能性が大きいかに関する可能性は、十分に研究されてない分野のままである。

閉経後の女性と比較して閉経前の女性では乳がんの再発および死亡のリスクが高まることを考慮すると、本報告の目的は、特に閉経前の女性における乳がんと地中海食事との間の関連に関する最新の証拠の全般的な概観を提供することであり、そして閉経前の女性において乳がん発症のリスクを低下させるための有効な手段として地中海食事の潜在的な役割を強調することである。

キーワード : 乳がん、地中海食事、栄養素、閉経前の女性

---